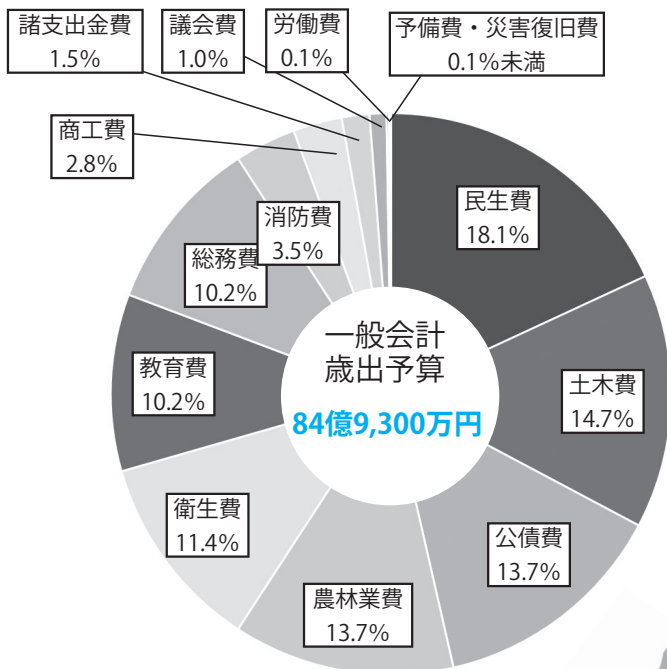


令和5年度 一般会計予算歳出総額

84億9,300万円

→町民1人あたり歳出額 約94万円



原案可決

(万円)

会計区分	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	前年度比	
一般会計	84億9,300	86億2,500	▲1.5%	
特別会計	国民健康保険	13億600	13億300	0.2%
	後期高齢者 医療保険	2億400	1億9,600	4.1%
	介護保険	11億9,640	11億9,330	0.3%
	水道事業	6億500	4億7,830	26.5%
	下水道事業	6億6,280	5億8,860	12.6%
6会計予算合計	124億6,720	123億8,420	0.7%	

○詳しくは、広報しみず4月号をご覧ください⇒



3月定例会

令和5年第2回定例会は、3月10日から22日までの13日間の会期で開かれました。

3月定例会の流れ

本会議

01

初日 (3/10)

町政執行方針、教育行政執行方針、専決処分(承認)、条例制定(総務産業常任委員会に付託)、予算の設定・条例改正(予算審査特別委員会を設置・付託)、請願(総務産業常任委員会に付託)

委員会

02

予算審査特別委員会 (3/10)

付託された案件を審査するため、委員会を設置

委員会

03

総務産業常任委員会 (3/10)

付託された案件等を審査

本会議

04

一般質問 (3/13~14)

8名15項目の質問
(関連記事 8ページから16ページ)

委員会

05

予算審査特別委員会 (3/15~17)

付託された案件を審査

本会議

06

最終日 (3/22)

新年度予算(原案可決)、補正予算(原案可決)、条例制定・改正(原案可決)、町道の認定・廃止について(原案可決)、人事案件(同意)、意見案(原案可決)

詳しい審議内容は、6・7ページをご覧ください。



どんなことに使いますか？



こんな質問がありました。

総務費

総務費歳出予算の合計は、8億5,467万6千円となり、前年度より1億1,644万9千円の減となりました。総務費の中では、町民生活課、総務課、企画課、商工観光課から令和5年度の予算について説明があり、次のような質疑がありました。

Q 廃屋解体撤去事業補助金について、費用は高騰しているのに予算が変わらないのは、件数を少なく見込んでいるということか。

A 令和3年度7件、令和4年度2件と減ってきているため、少なくなることを見込んでいる。増えた場合には、補正予算等で対応していく。

Q 地域プレーヤー創出・育成事業委託料について、具体的にどのようなことをするのか。

A 地方で、起業等チャレンジをしたい人を対象に、専門事業者に委託して、人材の発掘、地域の課題解決のビジネスを生み出し、自立自走できる支援、持続可能な仕組みを構築する支援、起業しやすい環境や事業の展開を考える支援などを行う。

Q 庁用車両購入費について、電気自動車の購入を考えているとのことだが、災害があったときに車高の高い車が必要ではないか。

A 今回予算計上している車は、外部給電器を併せて導入し、災害時に非常用電源として使うことが出来るものである。車高の高い車についても、今後購入する際は検討していきたい。

Q 子育て移住体験事業（保育園留学）委託料について、何人くらいの保育園留学を想定しているのか。保育士は足りるのか。

A 従来、条例に定められている一時保育の仕組みを活用したものである。一時保育の上限が5人以下と定められており、その中の1人程度を想定している。子育て支援課と連携をとりながら進めていく。

民生費

民生費歳出予算の合計は、15億3,768万3千円となり、前年度より2,826万3千円の増となりました。民生費の中では、保健福祉課、町民生活課、子育て支援課から令和5年度の予算について説明があり、次のような質疑がありました。

Q 保育施設運営人件費について、幼稚園と保育所が統合し、大所帯となるが、現状のままの人員の配置で、所長は一人とするのか。また、人員は足りているのか。

A 新年度からのしみず認定こども園は、園長1名、副園長2名を配置する予定。人員については、子どもの発達状況に合わせて、国の基準以上に配置できている。

Q 保育施設給食調理業務委託料について、年に数回でも有機給食を出してほしいと、町民から多くの声を聞くが、可能か。

A 野菜は、なるべく町内でそろえており、農産物の少ないものを使っている。大量に必要なため、月に何回とは約束出来ないが、子どもに安心・安全な給食を届けられるよう、可能かどうか委託業者に相談し、検討する。

商工費

商工費歳出予算の合計は、2億3,986万5千円となり、前年度より1,440万6千円の増となりました。商工費の中では、商工観光課、建設課から令和5年度の予算について説明があり、次のような質疑がありました。

Q 地域活性化商品券事業について、プレミアム率20%だと物足りないとの声も聞かれますが、今後の発行についてどう考えるか。

A 予算の範囲内で、町民に喜んでいただける商品券事業になるよう、商工会と協議していく。

Q 町内のイベントについて、学校に通っている子どものいない家庭や、新聞をとっていない家庭にも十分周知出来る方法を考えてもらえないか。

A SNSの利用やホームページ、チラシ等で発信しているが、まだまだ足りない現状である。今後、より効果的な発信方法を検討していく。

Q 芽室岳登山口環境整備工事について、トイレを設置することだが、何年も無かったものをなぜ設置することになったのか。また、設置するとしたらどのようなトイレを設置する予定か。

A 十勝山岳連盟と協議をした結果、トイレの利用に困っているとの意見が多く、設置することとなった。工事現場などによくある、簡易トイレを設置する予定で考えている。

土木費

土木費歳出予算の合計は、12億4,454万9千円となり、前年度より1,472万3千円の減となりました。土木費の中では、建設課から令和5年度の予算について説明があり、次のような質疑がありました。

Q 通学路の除雪について、何度か除雪されていない道を歩いて通学したという話を聞いた。優先的に道をあけてもらうことは出来ないか。

A 除雪会議の中では、通学路を優先するよう話していたが、降雪の状況によって出来ていなかった可能性がある。今一度、確認をしていく。

Q 除雪を委託している業者へ支払う価格が安いと聞く。機械の更新や人件費のことも考慮し、適正な価格を考え直してはどうか。

A 北海道の基準に合わせて設定している。除雪についてはまだまだ課題が多いが、業者の方の意見も聞きながら、町民の満足度の上がる方法を検討していく。

教育費

教育費歳出予算の合計は、8億6,538万円となり、前年度より361万3千円の増となりました。教育費の中では、学校教育課、社会教育課から令和5年度の予算について説明があり、次のような質疑がありました。

Q 清水高校振興会補助金について、御影から通う生徒に通学費を助成しているが、町外から通う生徒にも助成することは出来ないか。助成があれば、将来の夢の実現のために総合学科のある清水高校へ通う選択肢が広がるのではないか。

A 通学費助成は他町の取り組みも調べているが、なかなか入学者に結びついていない印象を持っている。清水高校生の通学費を助成するとなれば、同様に町外の高校へ通学している生徒も対象にしたいと考えており、かなりの高額になってしまうため、現段階では考えていない。本町では、昨年度からタブレット購入費用の助成を新一年生を対象に、町内在住の高校生及び清水高校生に対して行っている。

Q 小学生親善派遣事業について、本町の子どもが埼玉県深谷市に行く予定であると思うが、清水町に来てもらう計画はないか。5人で計上してあるが、清水何名、御影何名で考えているか。

A まずは、本町の子どもたちを派遣し、深谷市のことを勉強してきてもらいたいと考えている。今後、相互に行き来出来るよう、深谷市と協議していく。清水小学校と御影小学校両方の児童に行ってもらえるよう、バランスをとりながら、次年度以降も継続して行いたいと考えている。